

期 間 入 札 の 公 告

令和 7 年 7 月 11 日

岡山地方裁判所津山支部

裁判所書記官 森 原 和

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 7 年 8 月 7 日 午前 9 時 00 分から 令和 7 年 8 月 14 日 午後 4 時 30 分まで	
開札期日	日 時 場 所	令和 7 年 8 月 20 日 午前 11 時 00 分 岡山地方裁判所津山支部売却場
売却決定 期日	日 時 場 所	令和 7 年 9 月 10 日 午前 10 時 00 分 岡山地方裁判所津山支部
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。	
買受申出の資格の 制限（民事執行規則 33 条）	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。	
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 7 年 7 月 11 日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。		

物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和 6 年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1～3	4,849,000 3,879,200	一括	970,000	101,914	27,321
1	1,530,000				
2	678,000				
3	2,641,000				

物 件 目 録

- 1 所 在 津山市沼字御殿場
 地 番 265 番 2
 地 目 宅地
 地 積 392.00 平方メートル

- 2 所 在 津山市沼字御殿場
 地 番 265 番 10
 地 目 宅地
 地 積 173.46 平方メートル

- 3 所 在 津山市沼字御殿場 265 番地 2、265 番地 10
 家屋 番号 265 番 2
 種 類 居宅
 構 造 木造スレート葺 2 階建
 床 面 積 1 階 150.55 平方メートル
 2 階 76.67 平方メートル
 (附属建物)
 符 号 1
 種 類 車庫
 構 造 コンクリートブロック造陸屋根平家建
 床 面 積 21.80 平方メートル
 符 号 2
 種 類 物置



物 件 目 録

構 造 コンクリートブロック造陸屋根平家建

床 面 積 19.43平方メートル



※
め
め
※

物 件 明 細 書

令和 7年 1月30日

岡山地方裁判所津山支部

裁判所書記官 土 屋 茂 樹

1 不動産の表示

【物件番号1～3】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1～3】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号3】

本件所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

なし

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意

味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。

- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。
このほか、B I Tのお知らせメニューにも登載されています。



物 件 目 録

- | | | |
|---|--------|--|
| 1 | 所 在 | 津山市沼字御殿場 |
| | 地 番 | 2 6 5 番 2 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 3 9 2. 0 0 平方メートル |
| 2 | 所 在 | 津山市沼字御殿場 |
| | 地 番 | 2 6 5 番 1 0 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 1 7 3. 4 6 平方メートル |
| 3 | 所 在 | 津山市沼字御殿場 2 6 5 番地 2、2 6 5 番地 1 0 |
| | 家屋 番号 | 2 6 5 番 2 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造スレート葺 2 階建 |
| | 床 面 積 | 1 階 1 5 0. 5 5 平方メートル
2 階 7 6. 6 7 平方メートル |
| | (附属建物) | |
| | 符 号 | 1 |
| | 種 類 | 車庫 |
| | 構 造 | コンクリートブロック造陸屋根平家建 |
| | 床 面 積 | 2 1. 8 0 平方メートル |
| | 符 号 | 2 |
| | 種 類 | 物置 |



物 件 目 録

構 造 コンクリートブロック造陸屋根平家建

床 面 積 19.43平方メートル



現況調査報告書

第1分類		枚目
物件目録		1、2
土地・建物用		3
関係人の陳述等用		4
執行官の意見用		5
調査経過用		6
第2分類		
土地建物位置関係図		7
建物間取図		8、9
写真（12葉）		10～13

岡山地方裁判所津山支部

執行官 田野口 慎

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

- 1 所 在 津山市沼字御殿場
 地 番 265 番 2
 地 目 宅地
 地 積 392.00 平方メートル

- 2 所 在 津山市沼字御殿場
 地 番 265 番 10
 地 目 宅地
 地 積 173.46 平方メートル

- 3 所 在 津山市沼字御殿場 265 番地 2、265 番地 10
 家屋 番号 265 番 2
 種 類 居宅
 構 造 木造スレート葺 2 階建
 床 面 積 1 階 150.55 平方メートル
 2 階 76.67 平方メートル
 (附属建物)
 符 号 1
 種 類 車庫
 構 造 コンクリートブロック造陸屋根平家建
 床 面 積 21.80 平方メートル
 符 号 2
 種 類 物置



物 件 目 録

構 造 コンクリートブロック造陸屋根平家建

床 面 積 19.43 平方メートル



不動産の表示		「物件目録」のとおり	
住居表示		(住居表示未実施)	
土地		物件 1、2	
現況地目	☒ 宅地(物件 1、2) ☐ 公衆用道路(物件) ☐ (物件)		
形状	☐ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面(各階平面図)のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり ☐		
占有者及び占有状況	☒ 土地所有者 ☐ その他の者 上記の者が本土地に下記建物を所有し、占有している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり		
下記以外の建物(目的外建物)	☒ ない ☐ ある(詳細は「目的外建物の概況」のとおり)		
その他の事項			
建物		物件 3	
種類、構造及び床面積の概略	☒ 公簿上の記載とほぼ同一である ☐ 公簿上の記載と次の点異なる(☐ 主たる建物 ☐ 附属建物) ☐ 種類: ☐ 構造: ☐ 床面積:		
物件目録にない附属建物	☒ ない ☐ ある { 種類: 構造: 床面積:		
占有者及び占有状況	☒ 建物所有者 ☐ その他の者 上記の者が本建物を空き家の状態で占有している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり		
上記以外の敷地(目的外土地)	☒ ない ☐ ある(詳細は「目的外土地の概況」のとおり)		
その他の事項			
執行官保管の仮処分	☒ ない [地方裁判所 支部 令和 年()第 号 保管開始日 令和 年 月 日 ☐ ある		
土地建物の位置関係	☐ 建物図面(各階平面図)のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
■ A (所有者)	(1) 本件物件は、私が住もうと思って購入し、リフォームを始めましたが、思った以上にリフォーム費用がかかりそうなので、リフォームは途中止めになっています。結局、私はこの建物では生活をしていません。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

執行官の意見

■

- (1) 物件3建物については、関係人の陳述及び現場の状況から、所有者が空き家の状態で占有しており、その他第三者の占有はうかがえない。
- (2) 物件3主建物は、リフォーム途中の状態で、住宅設備は取り外されており、和室に畳は敷かれてなく、その他の部屋のフローリング、クロス、壁紙も剥がされたままになっている。
- (3) 物件1土地は、その南側と東側で市道(D169号線)に接し、物件2土地は、その東側で市道(D169号線)に接するが、土地と道路が等高に接するのは、物件1土地の北東角付近と、物件2土地の東側部分だけである。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

調 査 の 経 過		
調 査 の 日 時	調 査 の 場 所 等	調 査 の 方 法 等
6年10月 4日 (金) 10:50-11:10	岡山地方法務局津山支局	公図閲覧、要約書申請
6年10月 4日 (金) 11:20-11:40	物件所在地	物件調査 (不在)、写真撮影 (外観)
6年11月15日 (金) 8:40-8:50	本庁執行官室	所有者から電話聴取
6年11月20日 (水) 12:50-13:20	物件所在地	物件立入調査 (評価人同行)、間取確認、写真撮影
年 月 日 () : - :		
年 月 日 () : - :		
年 月 日 () : - :		
(特記事項) ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていると予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。 ☒ 令和6年11月20日 目的物件は不在で施錠されていたので、立会人Bを立ち合わせ、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。 ☐ 令和 年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。 ☐		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

土地建物位置関係図



S≒1/250

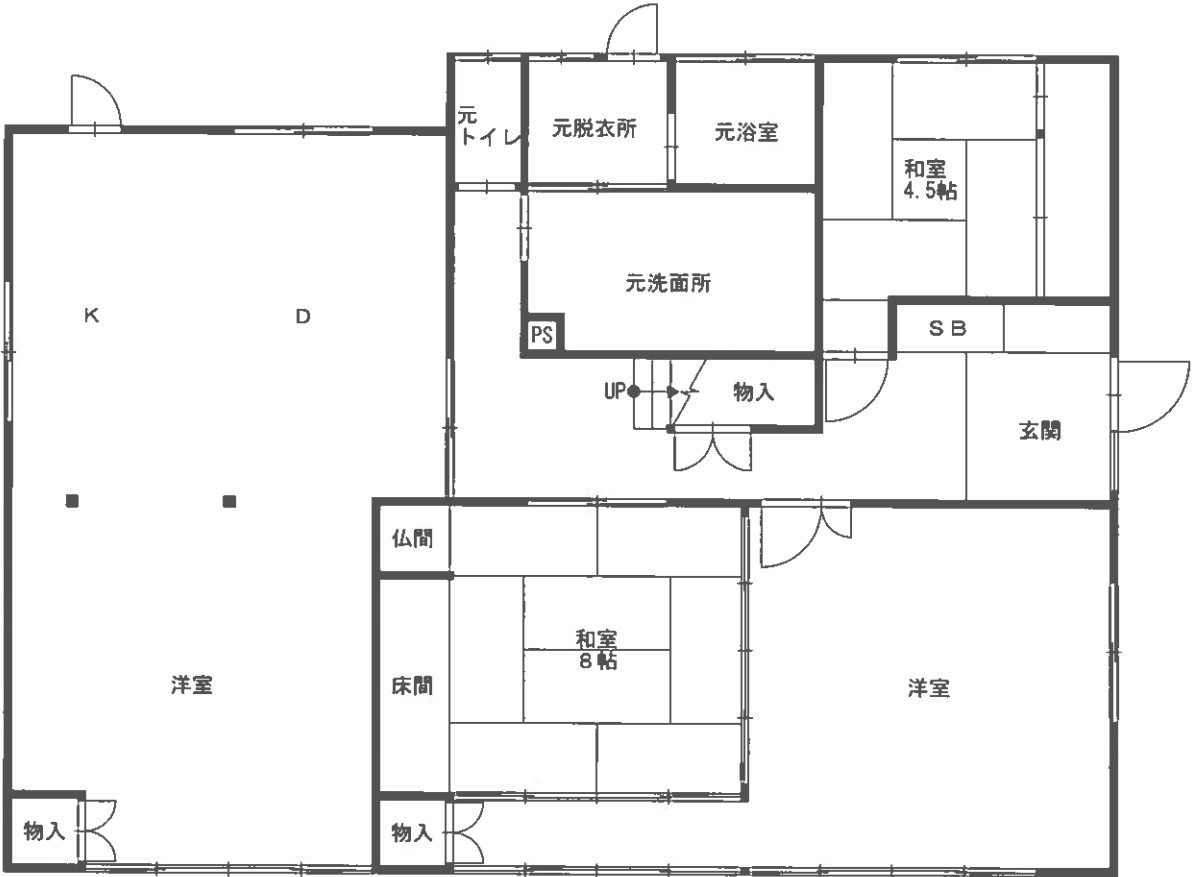


↑ 印は写真撮影位置
○ 方向写真番号

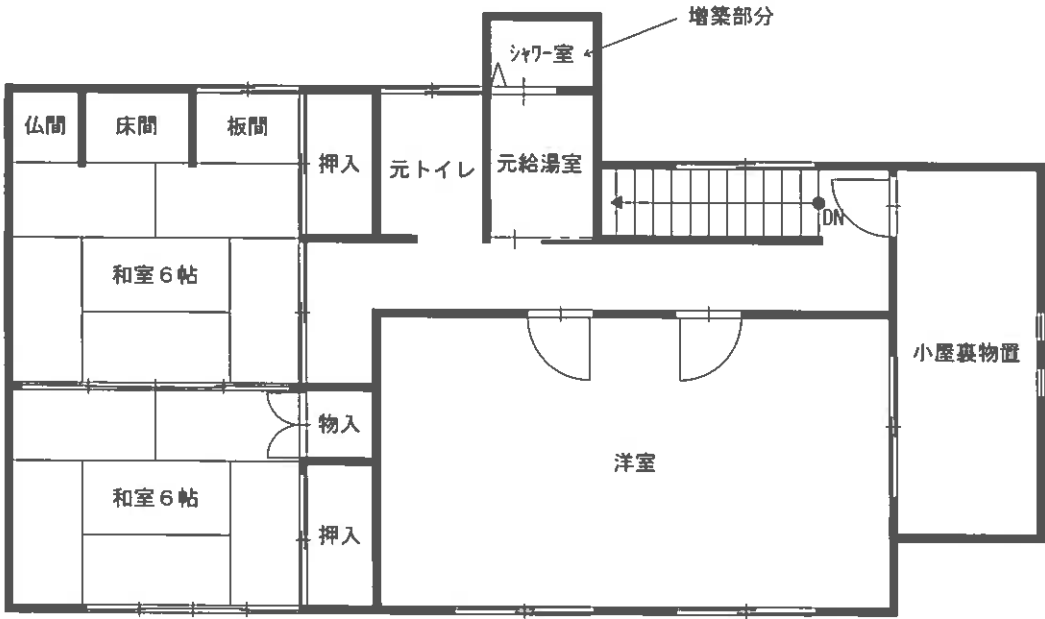
建物間取図



物件3建物
(主)



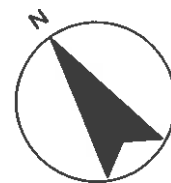
1 階



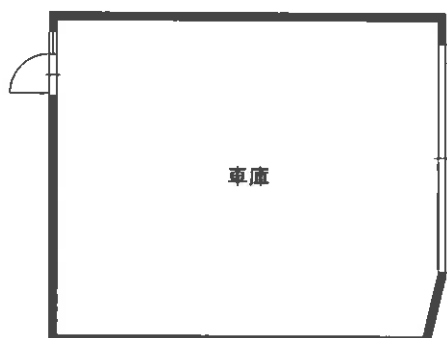
2 階

建物間取図

物件 3 建物



附属建物 1



附属建物 2

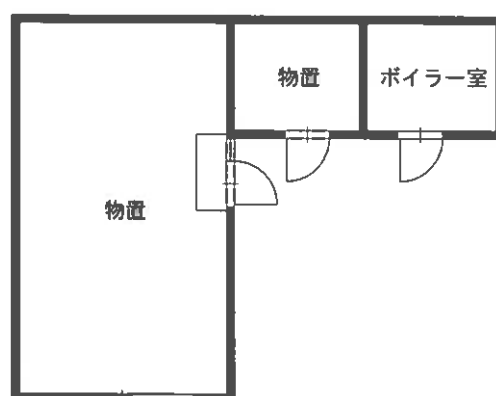


写真 1



写真 2



写真 3



写真 4

符号 2 附属建物

物件 2 土地

物件 3 主建物



写真 5 (主建物 1 階元ダイニングキッチン)



写真 6 (主建物 1 階西側和室 8 帖)



写真7 (主建物1階元トイレ)



写真8 (主建物1階元浴室)



写真9 (主建物2階南側洋室)



写真 1 0 （主建物 2 階北側和室 6 帖）



写真 1 1 （符号 1 附属建物車庫）



写真 1 2 （符号 2 附属建物西側物置）



評 第 24-3027 号
令和 6 年 (ケ) 第 13 号
令和 6 年 11 月 20 日 現地調査
令和 6 年 12 月 6 日 評 価

岡山地方裁判所 津山支部 御中

評 価 書

評価人 石田 慎治

第1 評価額

項目	物件番号	種類	評価額
一括価格	一括 (物件1・2・3)	土地 建物	金 6,925,000 円
内訳価格	1	土地	金 2,185,000 円
	2	土地	金 968,000 円
	3	建物	金 3,772,000 円

- ① 一括価格とは、物件番号記載の各不動産について、一括売却(民事執行法61条本文)を行うことを前提とした場合の合計価格である。
- ② 内訳価格とは、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- ③ 上記土地の内訳価格は建物のための敷地利用権価格を控除した価格であり、建物の内訳価格は当該敷地利用権価格を建物自体の価格に加算した価格である。

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較して競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、原則として買受希望者が事前に物件に立ち入ることができないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件状況の変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

物件 番号	種類	所在等	登記上	現況
1	土地	所在地番 地目 地積	津山市沼字御殿場 265番2 宅地 392.00 m ²	概ね同左
2	土地	所在地番 地目 地積	津山市沼字御殿場 265番10 宅地 173.46 m ²	概ね同左
3	建物	所在地番 家屋番号 種類 構造 床面積	(主である建物) 津山市沼字御殿場 265番地2、265番地10 265番2 居宅 木造スレート葺2階建 1階: 150.55 m ² 2階: 76.67 m ² 延: 227.22 m ²	2階部分が増築されていると 思われるが面積が過少のため 概ね同左とした。
		符 種 構 床面積	(附属建物1) 1 車庫 コンクリートブロック造 陸屋根平家建 21.80 m ²	概ね同左
		符 種 構 床面積	(附属建物2) 2 物置 コンクリートブロック造 陸屋根平家建 19.43 m ²	概ね同左
物件 番号	特 記 事 項			
—	—			

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等（物件 一体 ） 物件1・2

位 置・交 通	JR津山線 津山 駅の 北東 方直線約 1,950 m (別添「位置図」参照)	
付 近 の 状 況	丘陵地に旧来からの戸建住宅が立地する。	
主な公法上の規制等 (道路の幅員等の個別的な 規制を考慮しない一般的な 規制)	都市計画区分 : 非線引都市計画区域 用途地域 : 第1種低層住居専用地域 建 ぺ い 率 : 50 % 容 積 率 : 100 % 防 火 規 制 : ー その他の規制 : 宅造規制区域	
画 地 条 件 (規模・形状等)	規 模 : 565.46 m ² 間 口 : 約 10 m 奥 行 : 約 25 m 形 状 : 略台形 接面状況 : 中間画地 地 勢 : 略平坦	
接 面 道 路	方 位 : 南東側 幅 員 : 約 4.5 m 舗 装 : 有 種 類 : 市道 D169 高低差 : 略等高 摘 要 : 42条1項道路	
土 地 の 利 用 状 況 及び隣地の状況等	現況は、物件3建物の敷地として利用されている。 隣地の状況は、山林、戸建住宅等である。	
供 給 処 理 施 設	上 水 道 : 有 ガ 配 管 : 有 下 水 道 : 無	※供給処理施設における「有」とは、目的物件の前面道路に該当施設の本管(以下施設管という)が通っており、通常で敷地内への引込が出来る状態にあることをいう。「無」とは、目的物件を含めた周辺に施設管が配置されておらず、敷地内に引込むことが不可能な場合をいう。「不明」とは、前面道路に施設管は敷設されていないにもかかわらず供給処理施設を利用している場合や、役所での確認事項に疑義がある場合等で、将来的に当該施設が利用出来るかどうか不明な場合をいう。
特 記 事 項	「現況調査報告書」の通りである。市道とは高低差約0～約3m程度あり、間口については進入可能な平坦部分である。敷地部分は雑草が生い茂っている。 接面市道については位置指定道路にも指定されている。	

2 建物の概況及び利用状況等（物件3）

区 分	主である建物
建築時期 及び 経 済 的 残 存 耐 用 年 数	建 築 年 月 日 : 昭和51年頃 新築(登記上) 経 過 年 数 : 約 48 年 経済的残存耐用年数 : 約 2 年 増 改 築 時 期 : ー
仕 様	外壁 : モルタル吹付 (洋室) (和室) 天井 : 石膏ボード等 敷目天井 壁 : ー ー 床 : ー ー その他: ー ー
建 物 の 品 等	中品等
床面積（現況）	前記「第3目的物件」欄記載のとおり
現 況 用 途 等	現 況 用 途 : 前記「第3目的物件」欄記載のとおり 間 取 : 現況調査報告書添付の「建物間取図」のとおり
保守管理の状態	不良
建物の利用状況	「現況調査報告書」記載のとおりである。
特 記 事 項	「現況調査報告書」の通りである。経済的耐用年数の略満了した建物である。現況は、リフォーム途中で壁、床、天井、トイレ、風呂、キッチン等は撤去されていて放置の状況にあり劣化が進むと思われる。

区 分	附属建物1
建築時期 及び 経済的残 存耐用年数	建 築 年 月 日 : 昭和51年頃 新築(推認) 経 過 年 数 : 約 48 年 経済的残存耐用年数 : 約 2 年 増 改 築 時 期 : -
仕 様	外壁 : CB吹付 (車庫) 天井 : - 壁 : - 床 : 土間コン その他: -
建 物 の 品 等	中品等
床面積 (現況)	前記「第3目的物件」欄記載のとおり
現 況 用 途 等	現 況 用 途 : 前記「第3目的物件」欄記載のとおり 間 取 : 現況調査報告書添付の「建物間取図」のとおり
保守管理の状態	不良
建物の利用状況	「現況調査報告書」記載のとおりである。
特 記 事 項	「現況調査報告書」の通りである。経済的耐用年数の略満了した 建物で経年劣化、通常使用等による傷みは見られる。 現在は、放置の状態で劣化が進むと思われる。

区 分	附属建物2
建築時期 及び 経済的残 存耐用年数	建 築 年 月 日 : 昭和51年頃 新築(推認) 経 過 年 数 : 約 48 年 経済的残存耐用年数 : 約 2 年 増 改 築 時 期 : -
仕 様	外壁 : CB吹付 (物置) 天井 : 板張り 壁 : 板張り 床 : フローリング その他 : -
建 物 の 品 等	中品等
床面積 (現況)	前記「第3目的物件」欄記載のとおり
現 況 用 途 等	現 況 用 途 : 前記「第3目的物件」欄記載のとおり 間 取 : 現況調査報告書添付の「建物間取図」のとおり
保守管理の状態	不良
建物の利用状況	「現況調査報告書」記載のとおりである。
特 記 事 項	「現況調査報告書」の通りである。経済的耐用年数の略満了した 建物で経年劣化、通常使用等による傷みは見られる。 現在は、放置の状態で劣化が進むと思われる。

第5 評価額算出の過程

I 積算価格の試算

1 基礎となる価格

① 土地

対象物件が所在する地域の標準画地価格を求め、これに評価対象地の個別格差修正及び必要に応じて建付減価補正を行い土地価格を判定した。

i 標準画地価格の査定

(標準画地の概要) (A 地域)

種 別 : 住宅地域
 街路 幅員 : 約 4.5m
 地 積 : 約 200 m²
 間口・奥行 : 約12m×約17m
 形 状 : 長方形
 高 低 差 : 等高
 接面 状況 : 中間画地
 そ の 他 : -

地域 符号	公示価格等 (円/㎡) ア	時点 修正 イ	標準化 補 正 ウ	地域 格差 エ	規準価格等 (円/㎡) オ	標準画地価格 (円/㎡) カ
	30,800	$\frac{100}{100}$	$\frac{100}{100}$	$\frac{100}{120}$	25,700	25,700
A	公示地 津11-3	公示価 格等の 価格時 点から 評価日 までの 推定変 動率で ある。	公示地等 の画地条 件を標準 的なもの に補正し た。	街路条件、交 通接近条件、 環境条件、行 政的条件等の 格差を考慮の うえ査定し た。	オ：ア×イ×ウ× エ	規準価格等を参考に周 辺取引事例等を検討の うえ査定した。

ii 建付地等の価格

物件 番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個別格差 イ	持分 割合 ウ	地積 (㎡) エ	建付減価 補 正 率 オ	建付地等価格 (円) カ
	25,700	0.62	1.00	565.46	1.00	9,010,000
一体	A 地域	高低差 0.85 間口狭小 0.95 形状 0.95 規模大 0.90 地勢 0.90 相乗積 0.62	-	公簿数量	地域との適合 性・敷地との適 応性等を考慮の うえ査定した。	カ：ア×イ×ウ ×エ×オ

② 建物

当該建物の再調達原価を求め、これに耐用年数に基づく方法と観察減価法を併用した減価修正を行って、建物価格を判定した。

物件 番号	再調達原価 (円/㎡) ア	持分 割合 イ	現況延 床面積 (㎡) ウ	現価率 エ	建物価格 (円) オ
3 主	150,000	1.00	227.22	0.0240	818,000
	現在の建物建築費の推移動向、消費税の課税等も考慮したうえ、標準的な建築費に比準して求めた。	-	-	耐用年数に基づく方法と観察減価法を併用して査定した。	オ：ア×イ×ウ×エ
3 附属1	40,000	1.00	21.80	0.0360	31,000
	同上	-	-	同上	オ：ア×イ×ウ×エ
3 附属2	50,000	1.00	19.43	0.0360	35,000
	同上	-	-	同上	オ：ア×イ×ウ×エ
合 計					884,000

2 積算価格の判定

前記により求めた価格に、必要に応じて、土地については敷地利用権等を考慮した底地等割合を乗じ、建物については敷地利用権価格を加算し、競売市場修正等を施して、下記のとおり積算価格を求めた。

① 底地価格

物件番号	建付地価格 (円) ア	底地等割合				底地価格 (円) エ：ア×イ×ウ
		細符号	制約権利等	イ 面積割合	ウ 底地等割合	
一体	9,010,000	1	法定地上権	1.000	0.50	4,505,000
		計	-	1.000	-	4,505,000

② 底地内訳価格

物件番号	一体画地の底地価格 (円) ア	各物件の面積割合 イ	各物件の内訳価格 (円) ウ：ア×イ
1	4,505,000	69.3%	3,122,000
2		30.7%	1,383,000

③ 敷地利用権価格

物件番号		建付地価格 (円) ア	敷地利用権等割合				敷地利用権価格 (円) エ：ア×イ×ウ
			細符号	敷地利用権等	イ 面積割合	ウ 権利等割合	
3	一体	9,010,000	3	法定地上権	1.000	0.50	4,505,000
			計	-	1.000	-	4,505,000

④ 敷地利用権付建物価格

物件番号	建物自体の価格 (円) ア	敷地利用権価格 (円) イ	敷地利用権付建物価格 (円) ウ：ア＋イ
3	884,000	4,505,000	5,389,000

⑤ 内訳価格及び一括価格(積算価格)の査定

物件 番号	底地価格及び敷地 利用権付建物価格 (円) ア	占 有 減価修正 イ	市場性 修正率 ウ	競売市場 修 正 率 エ	その他減価 オ	積算価格 (円) カ
1	3,122,000	-	1.00	0.70	1.0	2,185,000
2	1,383,000	-	1.00	0.70	1.0	968,000
3	5,389,000	1.0	1.00	0.70	1.0	3,772,000
一括 (物件1・ 2・3)	9,894,000	-	-	-	-	6,925,000
	上記①②③④ 参照。	必要なし	目的外土地の存在による市場性を考慮のうえ査定した。	不動産競売市場の特殊性等を考慮のうえ査定した。	必要なし	カ：ア×イ×ウ×エ×オ

Ⅱ 収益価格の試算

対象不動産の所在する地域における賃貸借の動向、対象不動産の用途および個別性等から、対象不動産が賃貸借に供せられることは一般的でない。
したがって、収益還元法を適用しなかった。

Ⅲ 評価額の決定

以上により求めた積算価格を妥当なものと認め採用し、本件評価額を標記のとおり決定した。

第6 参考価格資料

1 地価公示価格等

地域符号 : A
 番号 : 津山-3
 所在 : 津山市志戸部字前田328番7
 価格 : 30,800 円/㎡
 位置 : 津山駅3.8km (道路距離)
 価格時点 : 令和6年1月1日
 地積 : 233 ㎡
 供給処理施設 : 水道
 接面街路 : 東6m 市道
 都市計画区分 : 非線引都市計画区域
 用途指定等 : 1低専 (50、100)
 地域の概要 : 中規模一般住宅が建ち並ぶ郊外の住宅地域

2 固定資産税評価額 (令和 6 年度)

物件 番号	種類	固定資産評価額	摘要
1	土地	4,619,328 円	
2	土地	2,044,052 円	
3	建物	5,451,394 円	公課証明書の合計額

※ 参考価格資料のうち地価公示価格等は、当該不動産の評価額を算定するに当たって参考とした価格である。決定した評価額は不動産競売を前提とした価格であり、固定資産評価額とは、その性質を異にしている。

第7 附属資料の表示

- 1 位置図
- 2 公図写
- 3 建物図面
- 4 土地建物位置関係図

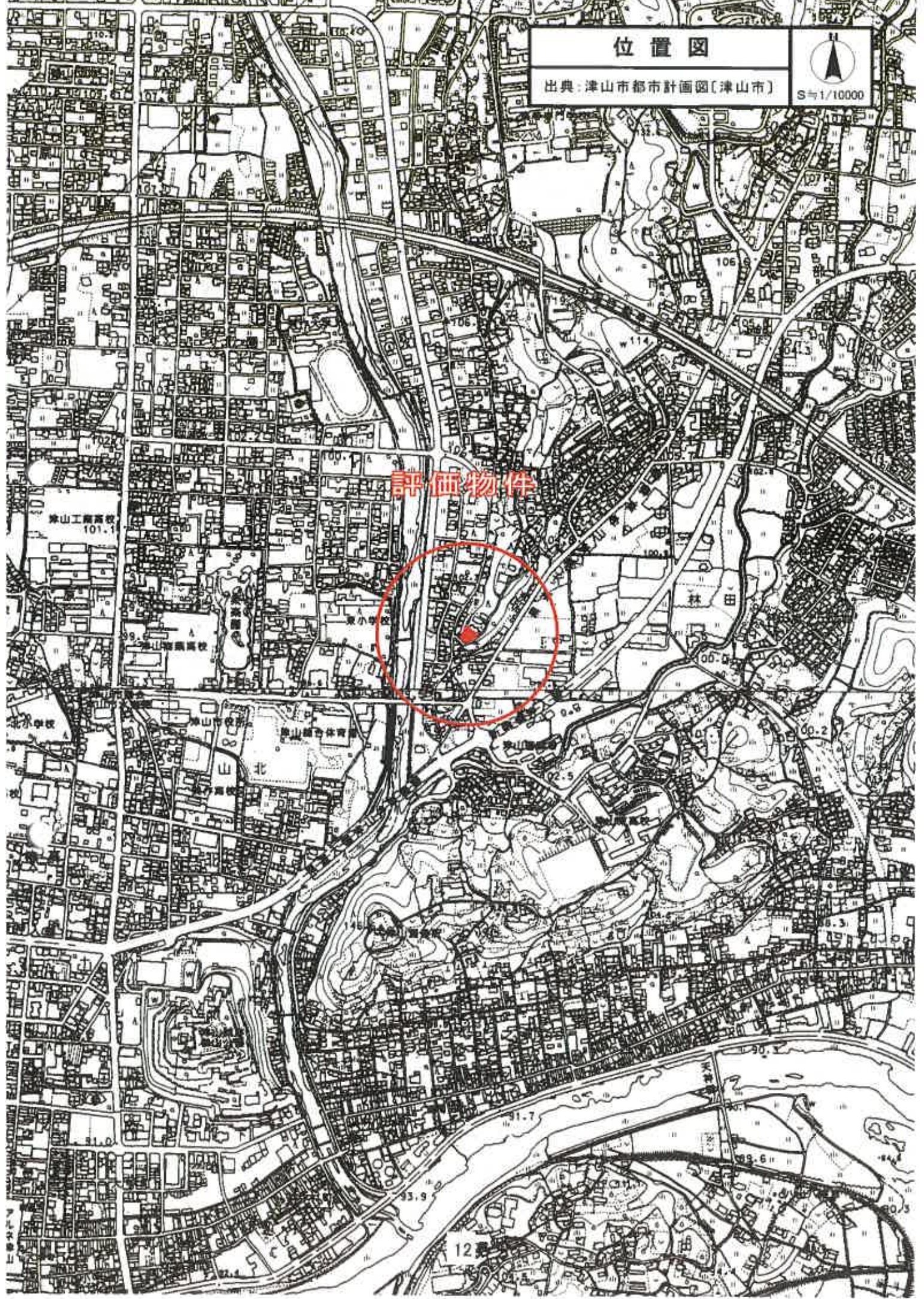
以 上

位置図

出典：津山市都市計画図〔津山市〕

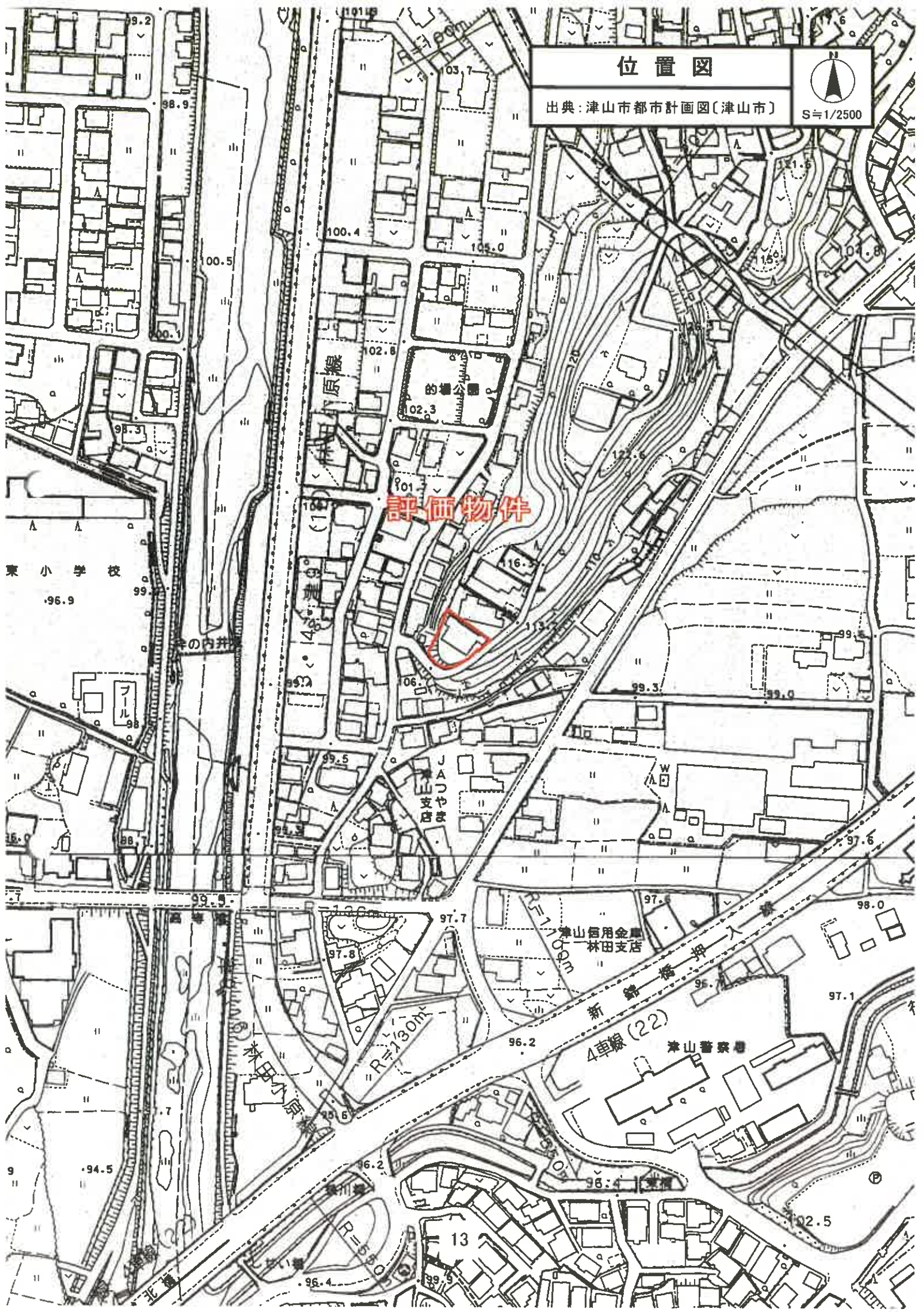


評価物件



位置図

出典：津山市都市計画図〔津山市〕



評価物件

東小学校

的場公園

JAつやま
津山支店

津山信用金庫
林田支店

新幹線 (22)
4車線

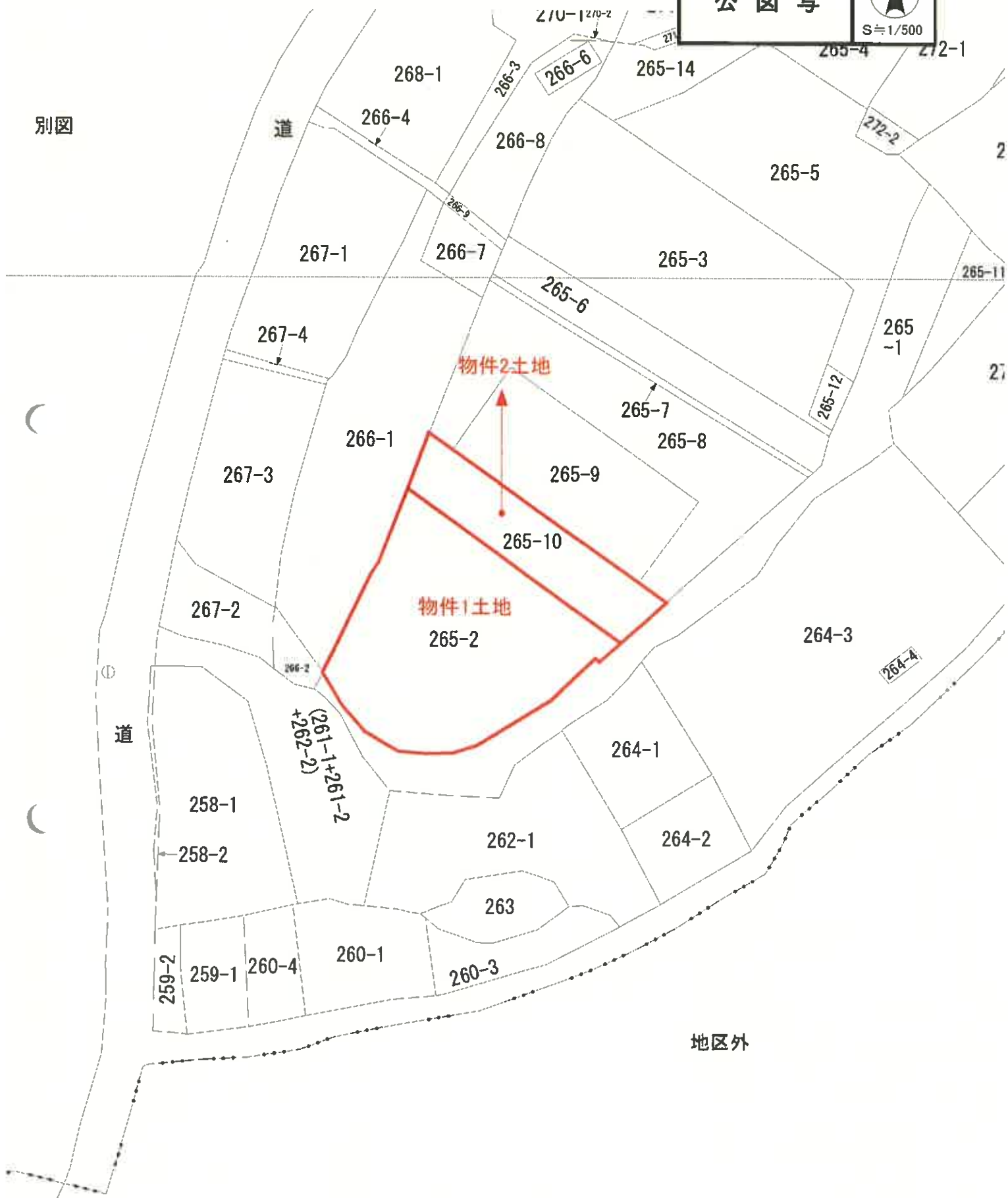
津山警察署

公 図 写



S=1/500

別図



0038605

各階平面図

家庭番号 265番2

建各階平面圖

美山町沼子御殿場 265番地2 265番地10

主 2 牌

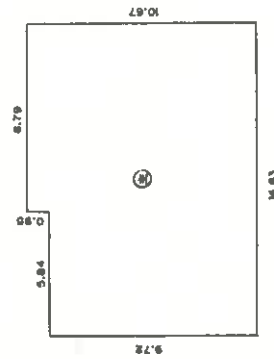


主 乙精床面積

7.84	X	0.90	=	7.0560
11.76	X	5.92	=	69.6182

76.6752 m

主 題



主 任 王 西 康 健 1

8.79	X	0.95	=	8.3505
14.63	X	9.72	=	142.2036

150.5541 m²

物件3建物

A3をA4に縮小

0038606

各階平面図

建物図面

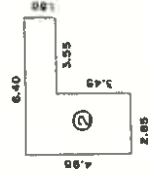
265番2

津山市沼字御殿場 265番地2 265番地10

建物の所在

符号②

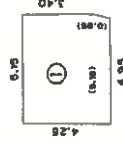
符号②床面積



6.40	X	1.50	=	9.6000
2.65	X	3.45	=	9.8325
計				19.4325 m ²

符号①

符号①床面積



$\frac{(5.15 + 4.95) \times 0.85}{2} = 4.2925$				
5.15	X	3.40	=	17.5100
計				21.8025 m ²

物件3建物

A3をA4に縮小

土地建物位置関係図



S≒1/250

